

# 防災教育に係る課題

仙台市危機管理局  
防災・減災部 減災推進課

## 【目次】

- 1 防災学習 概要（危機管理局の取組み）
- 2 防災教育 概要（教育局の取組み）
- 3 防災教育に係る課題
- 4 他機関における防災教育
- 5 資料【防災学習】
  - 防災・減災アドバイザー
  - せんだい災害VR事業
  - 仙台防災ハザードマップ
  - せんだいくらしのマップ等
  - マイ・タイムライン作成



【防災まさむね君】  
伊達家伯記念会協力

## 1 防災学習 概要（危機管理局の取組み）

### “防災学習”とは

地震・津波・台風等の災害に関する一般知識を備え、緊急時の避難行動に関して、様々な取組みを活用し、知識の習得に努めること。

#### 【取組項目】

- VR映像視聴による災害体験
- マイ・タイムラインの作成
- 防災講座・防災パネル展 等の開催
- 防災リーフレット、ハザードマップの配布 等

【背景】○気候変動等の影響による災害の激甚化・頻発化  
○大規模災害を経験していない若い世代増加

3

## 2 防災教育 概要（教育局の取組み）①

### “仙台版防災教育” 基本的な考え方

○ 自助の力・共助の力を、児童生徒に育む

#### 【自助の力】

平常時から災害に備え、災害時に冷静に判断し、自らの命を守り、臨機応変に自らの安全を確保できる力

#### 【共助の力】

平常時から進んで他の人や地域の力となり、災害時の対応や地域に協力し、活動に参画できる力

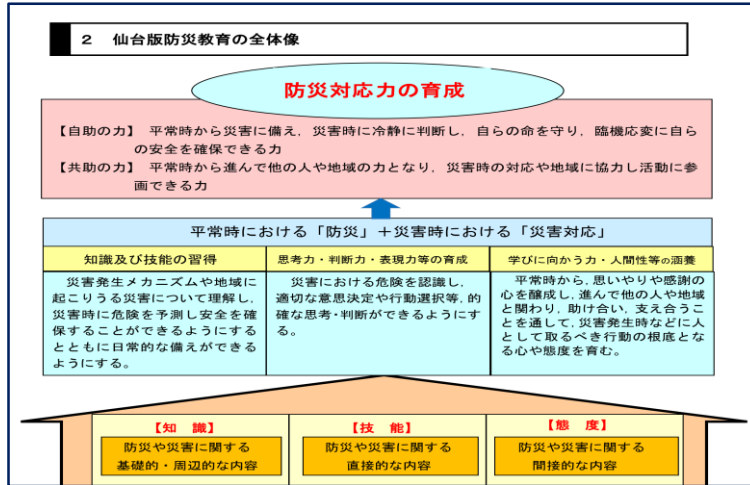
#### 【自助・共助の育成を図る三つの柱】

- 知識及び技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 学びに向かう力・人間性等の涵養

4

## 2 防災教育 概要（教育局の取組み）②

### 仙台版防災教育実践ガイド ①



5

## 2 防災教育 概要（教育局の取組み）③

### 仙台版防災教育実践ガイド ②

※（ ）は関連が考えられる教科等です。

小学校5～6年	中学校	分類
災害の種類や特性、災害の原因（自然と社会）を理解する。 (社会、理科)	国土及び地域の自然環境と人々の生活や産業との関係を理解し、起こり得る自然災害を予想する。 (社会、数学)	(1) 災害の種類や特徴
災害の発生メカニズムを理解する。(5年で気象、6年で地震と津波) (理科)	科学的な知識を生かして、自然現象と災害に関連付けて状況を判断する。 (数学、理科)	(2) 発生メカニズムや被害
東日本大震災や過去の災害の被害の様子、伝承を理解する。 (社会、理科)	日本の気象がもたらす恵みと災害について記録や資料を用いて調べ、自然と人間との関わりについて考察する。 (国語、社会、理科)	(3) 過去の災害・伝承
国や自治体による災害復旧や復興、防災に関する取組を理解する。 (社会)	国や自治体の取組について成果と課題を知り、地域に応じた防災対策の在り方を考える。 (社会、理科)	(4) 災害防止や復旧・復興（公助）
災害等やその場の状況に応じた身の守り方や避難の仕方を理解する。 (体育、特活)	自然災害による被害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じることを理解し、対応と備えを理解する。 (保健体育)	(1) 身の守り方や避難の仕方
災害時の心の変化と行動、災害時に必要な情報と入手の仕方を理解する。 (社会、理科)	災害心理を理解し、正しい情報入手とその信頼性の吟味の方法を理解する。 (技術)	(2) 情報を生かす方法
出血や打撲をしたときの簡単な手当の仕方、AEDの機能を理解する。 (体育)	心肺蘇生、AEDの使用方法などの応急手当や負傷者搬送の方法を理解し、緊急時に判断して行動できるようにする。 (保健体育)	(3) 応急手当の方法
ライフラインが止まったときの対処法を理解する。 (家庭)	迅速で的確な情報提供のための観測装置や通信網、より安全性の高い建築物の設計・開発など、地震に備える科学技術について知る。 (理科)	(4) 生き抜く知恵と技能

【 仙台版防災教育における指導事項 】

6

## 2 防災教育 概要（教育局の取組み）④

### 仙台版防災教育：授業の実施手順

#### ステップ①：対象となる児童生徒の実態を把握

想定される災害等を十分吟味する。学習課題は、児童生徒の発達の段階を考慮し、必然性や必要性のあるものにする。

#### ステップ②：指導の目標を吟味

教科等の目標・内容が、直接的に防災教育の内容・目標に関連しているか確認する。

#### ステップ③：教材選択(開発)、指導方法・形態等を検討

どのような教材で指導事項を指導することが適切か検討する。  
(副読本などの読み物、視聴型の映像、スライド、疑似体験型等)

#### ステップ④：指導と評価を行い改善の方向性を検討

防災教育は、学校としての一体的な取組が大切。  
1単位時間の授業は、学習のプロセスをどう評価するかが大切。

【仙台版防災教育実践ガイドから抜粋】 7

## 3 防災教育に係る課題 ①

### 法令等の影響

#### ○ 令和4年3月:閣議決定

##### 『第3次学校安全の推進に関する計画』

地域の災害リスクを踏まえた「実践的な防災教育」の充実に向けて、各学校は自治体等が提供する教材や授業展開例を参考に、効果的な安全教育に取り組むことが示された。

#### ○ 令和2年～、学校教育の新たな学習指導要領

「防災・安全教育」の内容が、「地域における人々への防災の取組みに対する理解を深める指導」、「災害について主体的に学び考えるアクティブ・ラーニング的指導」等へと拡充された。

本市における学校教育は、『仙台版防災教育』を指針に定め、防災副読本の活用等を通じ、防災教育の充実に努めてきた。

8

### 3 防災教育に係る課題 ②

#### 防災教育・防災学習の連携

地域の「実践的な防災・減災の啓発」への取組みは、危機管理局では全市域への対応が困難。(連携を要する…)

#### 【一方、繁忙な学校教員は…】

- 防災訓練は、授業カリキュラムの合間を見つけて開催  
→ 訓練する内容が浅くなり、効果は上がらない。
- 新たな防災・減災の知識を得る時間が不足  
→ 授業に、防災・減災の指導事項を掛け合わせられない。
- 新たな学習内容は、他分野にも山積し、対応に限界…  
→ 適切な防災教材があれば、短時間で準備・対応できる。

防災教育と連携するため、適切な教材の制作など、分科会の皆様から、ご提案をお願い申し上げます。

9

### 4 他機関における防災教育

#### 防災教育の各種取組みを紹介するWEBサイト

- 国立研究開発法人 防災科学技術研究所  
『先生のための防災教育ポータルサイト』  
<https://bosai-kyoiku.jp/>
- 一般社団法人 防災教育普及協会  
<https://www.bousai-edu.jp/>
- 日本赤十字社『赤十字ボランティア・青少年赤十字 → 防災教育』  
<https://www.jrc.or.jp/volunteer-and-youth/youth/prevention/>
- 内閣府『防災情報のページ → 防災教育のページ』  
<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/minna/kyoiku/index.html>
- 国土交通省『防災学習ポータルサイト』（教員向けページ）  
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/teacher.html>

10

## 5 資料【防災学習】：防災・減災アドバイザー ①

### 防災・減災アドバイザーとは

#### ○趣旨

市民や地域団体等の防災・減災意識の醸成や災害対応力の向上を図るため、防災・減災に関する取り組みを普及啓発する。

#### ○普及啓発の取り組み

- 1 研修・講習会・講話等における講師等
- 2 テレビ・ラジオ等を活用した普及啓発
- 3 新聞・広報誌等への寄稿



#### ○活動期間：通年

様々な機会や時季をとらえ、情報を提供

協力  
仙台市防災・減災  
アドバイザー  
早稲垣人志

11

## 5 資料【防災学習】：防災・減災アドバイザー ②

### 活動実績（2023年度）

#### ○出演・寄稿等

対象	回数
テレビ	6
ラジオ	53
紙面	20
ウェブサイト	10
その他	0
<b>計</b>	<b>89</b>

#### ○研修・講習会・講話

対象	回数	人数
市民	22	953
地域団体	40	1,573
事業所	7	160
学生等	20	2,145
市職員	4	255
その他	1	20
<b>計</b>	<b>94</b>	<b>5,106</b>

※一年間に、計200回程度の普及啓発に取り組んでいる。

12



## 5 資料【防災学習】：防災・減災アドバイザー ③

### 写真・掲載記事



【こども新聞：掲載記事】

13

## 5 資料【防災学習】：せんだい災害VR事業

### 「せんだい災害VR事業」広報リーフレット

**VRでリアルに防災学習**  
命を守るチカラを身につけよう!

「せんだい災害VR」とは？  
VR(バーチャルリアリティ)による災害体験を通じた、体験型の防災学習です。  
地域や各種団体の防災研修会等に専門スタッフを派遣し、仮想現実による疑似体験を用いて各被災者に対する備えや具体的な対応方法等を説明する取り組みです。

「せんだい災害VR」は4種類  
▶ 地震災害編 ▶ 津波災害編  
▶ 洪水・土砂災害編 ▶ 内水氾濫編

それらの自然災害の予測(触れ)や浸水の様子などを、最新のバーチャルリアリティ(仮想現実)技術を活用した3D映像をみることで、臨場感あふれる4Dの体験学習が可能です。

学校や地域での防災学習に、職場や団体、機関の研修会や防災訓練にぜひ、ご利用ください。

**せんだい災害VRを利用するには？**

**いつ利用できるの？** 利用可能日は水曜日、木曜日、土曜日、日曜日の9時30分～16時30分です。  
※年末年始を除く。

**どこで利用できるの？** 仙台市内の学校、委員会、市民センター、事業所等の屋内にてご利用いただけます。  
屋外での利用はできません。利用場所に関する費用は必ず事前のご確認となります。

**誰が利用できるの？** 概ね10名以上の各種団体(学校、町内会、任意団体、事業所等)が利用できます。  
※個人利用不可、対象年齢7歳以上。

**利用申し込みの流れ**

ステップ1 電話予約 ▶ ステップ2 利用申請書の提出

☎電話予約 ☎022-347-3153 ▶ ☎電話予約 ☎022-347-3154  
受付時間：平日、金曜日(9時～16時30分) ※お休みの日 別途

利用日の90日前から21日前まで受付できます。 電話予約後、利用日の10日前までにご提出ください。

**せんだい災害VRの特徴と内容**

VRの種類	VR体験時間	VR体験と説明を通して学ぶ、主な内容	全体の所要時間
地震災害編	約4分	日震の発生として震害の被害診断、補強及び非常持ち出し品等について知り、避難行動の重要性を学びます。	約20分
津波災害編	約4分	仙台市が実行する「津波からの避難の手引き」をもとに、日震からの避難や避難所へ入る方法について学びます。	約20分
洪水・土砂災害編	約4分	ハザードマップの見方やウェブサイト・タイムラインの作成方法を学び、日常から準備すべきことや避難時の注意点について学びます。	約50分
内水氾濫編	約4分	内水ハザードマップの見方や内水時の注意点を学び、日震からの浸水への備えについて学びます。	約20分

※体験できる災害VRは1回の利用につき1種類までです。

市WEBサイト『<https://www.city.sendai.jp/gensaisuishin/sendaisaigaivr.html>』

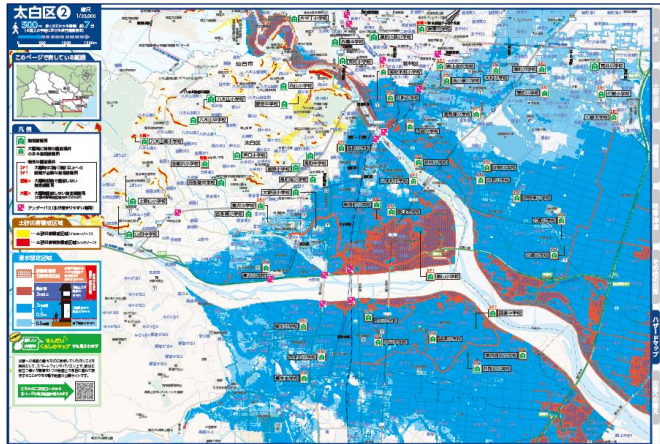
14

## 5 資料【防災学習】：仙台防災ハザードマップ

### 豪雨災害に備える：仙台防災ハザードマップ



【表紙】



【危険性を地図に表示】

15

## 5 資料【防災学習】：せんだいくらしのマップ等

### せんだいくらしのマップ：津波からの避難の手引き



【せんだいくらしのマップ】

仙台市の提供する地理情報システム  
(電子地図の公開サイト)



【津波からの避難の手引き】

津波避難エリア・津波避難場所と  
津波からの避難行動等を記載

16



## 5 資料【防災学習】：マイ・タイムライン作成

### マイ・タイムライン作成

【マイ・タイムラインとは】

- 大雨・台風災害に備えた「家族の避難計画」
- 避難情報の種類などを学んだ上で、自身や家族がとるべき避難行動について、「いつ」「誰が」「何をするのか」を、時系列に記入



市WEBサイト『<https://www.city.sendai.jp/anzensuishin/kurashi/enzen/saigaitaisaku/sonaete/mytimeline.html>』

17